

おおてみち

第113号

令和2年(2020年)10月1日
滋賀県立安土城考古博物館

信長と秀光時代

戦国近江から天下統一へ

令和2年度秋季特別展

明徳光秀画像(元禄号「当館蔵」)

織田信長(慶應義塾大学蔵)

重要文化財 近江名所図(滋賀県立近代美術館蔵)

令和2年10月10日(土) - 11月23日(月・祝)

●開館時間：午前9時～午後5時 (ただし、入館は午後4時30分まで) ●休館日：月曜日 (ただし、11月23日(月・祝)は開館)

●入館料：大人900円(690円) / 高大生640円(470円) / 小中生420円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)460円(350円)

※()は20人以上の団体料金です。 ※「信長の館」との共通券：大人1,190円 / 高大生720円 / 小中生430円 / 県内高齢者(65歳以上)850円

●主催：滋賀県立安土城考古博物館



第50回滋賀県芸術文化祭参加事業



近江風土記の丘

滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

秋季特別展

信長と光秀の時代

—戦国近江から天下統一へ—

会期 10月10日(土)～11月23日(月・祝)
会場 企画展示室・第2常設展示室

昨年末から盛り上がりを見せる明智光秀ブームに水を差すように、新型コロナウイルスの感染が拡大し、開催を予定していた春季特別展を予定どおり開催できなくなりました。楽しみにされていた皆様には、心よりお詫び申し上げます。

しかしながら、ご所蔵者の皆様のご理解とご協力をいただき、ほぼ同じ内容で、秋季に開催の運びとなりました(今後の状況により変更の可能性もあります。最新の情報は、ホームページでご確認ください)。実物展示の延期が叶わなかった南蛮屏風(大阪城天守閣蔵)は、写真パネルでご紹介する予定です。また、展示図録は春季展の内容で販売をしています。

展示は二つの章で構成されます。第一章「中世の景観と社会」では、



△明智光秀禁制 (多賀町多賀大社蔵)

信長や光秀が上洛した永禄年間(一五五八～七〇)の近江の景観を描いたとされる近江名所図(滋賀県立近代



南蛮胄 (大阪城天守閣蔵)

美術館蔵)をご覧になりながら同時にタイムスリップ。観音寺城主六角氏や家臣たちの活動、団結して村を守ったり商いの権利を主張する民衆たちの姿、ヨーロッパ世界との出会いから広まった南蛮の文物なども紹介します。

第二章「近江から天下統一へ」では、信長と光秀の出会い、近江入国後、天下統一に向けて邁進する信長の下で活躍する光秀の姿と、本能寺の変に至る経緯などを、関係資料から紹介します。

最近県内で話題になっている「光秀近江出身説」の根拠となる二つの資料も展示します。

《主な展示資料》

(◎)は重要文化財、△は県指定文化財、□は市指定文化財

◎近江名所図(滋賀県立近代美術館蔵)

□織田信長画像(近江八幡市摺見寺蔵)

明智光秀画像復元模写(当館蔵)

◎今堀惣分掟書—今堀日吉神社文書—

(東近江市日吉神社蔵)

△六角氏家臣連署書状—芦浦観音寺文書—

(草津市観音寺蔵)

六角氏式目(滋賀県立図書館蔵)

メダリオン「無原罪の聖母」(当館蔵)

花樹蒔絵螺鈿洋櫃(大阪城天守閣蔵)

織田信長制札(個人蔵)

六角承禎書状—市川家文書—(個人蔵)

△明智光秀書状—芦浦観音寺文書—

(草津市観音寺蔵)

明智光秀書状(滋賀大学経済学部附属史料館蔵)

明智光秀書状—益田家文書—(個人蔵)

浅井長政夫人(お市の方)画像(当館蔵)

山岡景隆画像(大津市園城寺蔵)

山岡道阿弥(景友)画像(大津市園城寺蔵)

豊臣秀吉画像(多賀町多賀大社蔵)

□近江国蒲生郡安土古城図(近江八幡市摺見寺蔵)



織山佐々木城及屋敷跡画図(五個荘川並町自治会蔵)

畑地で見つかった「紅皿」の謎

三津屋遺跡の整理調査成果から

安土城考古博物館の「回廊展示」でガラス越しに見える部屋「整理室」、そこでは県内各地の遺跡の発掘調査で見つかった出土遺物の整理調査を行っています。今回はその中から、東近江市三津屋遺跡の調査成果についてご紹介します。

三津屋遺跡は、東近江市三津屋町に所在する、近年新たに確認された遺跡です。平成二九年から三年間発掘調査を、その後令和元年から二年間かけて、本館整理室内で整理調査を行っています。

この三津屋遺跡、三年間で計一万㎡以上の発掘調査を行い、溝跡や井戸跡、多数の土坑、集石遺構のほか多数の倒木痕（木が倒れた／倒された跡）等が見つかっています。また、出土遺物は、非常



見つかった溝跡と倒木痕

に量は少ないものの、土師器や陶磁器、金属製品などの中世から近代の遺物のほかに、縄文土器や須恵器の欠片、サヌカイト製石鏃なども見つかっています。

遺構として溝や井戸（素掘り井戸）が見つかりつつ、「出土遺物が非常に少ない」という状況からは、当時その周辺には、畑や水田などの農耕地「つまり「器」をあまり使用しない生業空間」が広がっていた可能性を考えてみる必要があるでしょう。

一方で、その場合、実は少し気になることもあります。出土遺物の中に、「紅皿」と呼ばれる、江戸時代の「紅」用の小さな器の欠片が二点見つかっているのです。いずれも江戸時代後期頃に作られたものなのですが、それぞれ別の遺構の埋土の中から個別に見つかっています。

一般に、江戸時代の「紅」は高価な品とされ、紅皿や紅猪口に少量ずつ刷毛で塗りつけて売られていたようです。「都会・街中」に近い、あるいはお城や屋敷跡のような遺跡で見つかることが多いという印象のある「紅皿」ですが、今回は、それが「農村部」のしかも「農耕地」で見つかったということになります。この事実を、どう理解すれば良いのでしょうか？

江戸時代後期頃には、すでに農村部まで「紅」が普及していたことを示しているのか、あるいは例えば「当時のゴミの捨て方事情」が関係するのか、など色々な可能性を考える必要がある



三津屋遺跡出土「紅皿」

のかも知れません。いずれにしても、「紅を携えて畑へ行く」、この「畑と紅」という取り合わせは、少々ミスマッチな気がします。何か特殊な事情でもあったのでしょうか？

さて、新型コロナウイルス感染症対策のため、今夏の予定が延期になっていた「あの遺跡は今！ part 27」（整理調査成果報告会／現在整理中の出土品を、整理作業の様子とともに展示・特別公開します）ですが、今秋10月31日・11月1日の二日間、三密を避け感染症対策しつつ、開催することになりました。場所は安土城考古博物館の「回廊展示」、もちろん三津屋遺跡の「紅皿」も展示します。お見逃しの無いよう、ぜひ見学にお越し下さい。

博物館の主な催し

			企 展 示 画 室	望 楼 下		
10 月	2日(金)	連続講座Ⅰ①「佐和山城」 講師：山口誠司（(公財)滋賀県文化財保護協会） 13時30分～15時【要申込・有料】	秋季特別展『信長と光秀の時代—戦国近江から天下統一へ—』 10月10日(土)～11月23日(月・祝)			
	9日(金)	連続講座Ⅰ②「長浜城」 講師：牛谷好伸氏（長浜市市民協働部歴史遺産課） 13時30分～15時【要申込・有料】				
	23日(金)	連続講座Ⅰ③「八幡山城」 講師：坂田孝彦氏（近江八幡市総合政策部文化観光課） 13時30分～15時【要申込・有料】				
	30日(金)	金曜城郭講座①「戦国近江と寺院」 講師：松下浩氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課） 13時30分～15時【要申込・有料】				
11 月	6日(金)	連続講座Ⅰ④「音羽城」 講師：振角卓哉氏（日野町教育委員会） 13時30分～15時【要申込・有料】				
	13日(金)	金曜城郭講座②「敏満寺遺跡」 講師：大道和人氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課） 13時30分～15時【要申込・有料】				
	20日(金)	連続講座Ⅰ⑤「水口岡山城」 講師：小谷徳彦氏（甲賀市教育委員会） 13時30分～15時【要申込・有料】				
	27日(金)	金曜城郭講座③「比叡山延暦寺」 講師：仲川靖氏（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課） 13時30分～15時【要申込・有料】				
	28日(土)	連続講座Ⅱ①「京極家墓所」 講師：伊庭功（当館学芸課長） 13時30分～15時【要申込・有料】				
12 月	5日(土)	連続講座Ⅱ②「近江国庁」 講師：田中久雄氏（大津市教育委員会） 13時30分～15時【要申込・有料】				特別陳列 12月1日(火)～1月17日(日) 『上御殿遺跡—古代祭祀—』
	12日(土)	連続講座Ⅱ③「永原御殿跡」 講師：進藤武氏（野洲市教育委員会） 13時30分～15時【要申込・有料】				
	13日(日)	お正月飾りを作ろう 13時30分～15時【要予約・有料】会場：会議室				

※連博物館関連講座の会場は当館NPSセミナールームです。

※講師の所属・職名は令和2年8月現在のものとなっています。

※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

※講座はすべて事前申込制となっております。詳細は、電話でお問い合わせください。なお、当館ホームページおよび講座の広報チラシでもご確認できます。

※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち 第113号
令和2年(2020年)10月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail: gakugei@azuchi-museum.or.jp URL: http://www.azuchi-museum.or.jp